

未来につながるために

西池小 四年 大崎 愛来

わたし達の暮らしにおいて、「水」は欠かせません。せんとくに使ったり、食事の用意に使ったり、いろいろなところで水は必要です。

わたしは、四年生になって、社会のじゅ業で、水について学習しました。また、校外学習で下北方浄水場ではありますが、直せつ水ができるまでの流れを見学しました。わたし

は、水についてきょう味を持ったので、下水道についてでもっとくわしく知りたいなと思

い、調べることにしました。

もし、下水道がなかったら、お水がそのまま街に流れ出し、街がふえい生になります。そして、ハエやかなどの害虫がわいて、伝せん病が流行してしまいます。また、大雨のとき、雨水がたまり、しん水や、こう水などの水害にあいます。そして、川や海はよごれてしまい、においもくさくなります。そう



ると、わたし達はきれいな水を飲めなくなり  
生活できなくなってしまいます。だから、下  
水道は、わたし達の生活になくてはならない、  
大切なそんざいなのです。

その下水道を守るために、わたし達に何が  
できるでしょうか。そのできることについて  
考えてみました。一つ目は、よごれたお皿は  
紙でふきとるといことです。食べ残しのカ  
スや油よごれなどをそのまま流すと、下水道  
管によごれがこびりついてしまい、水が流れ

にくくなってしまいます。また、かんきょう  
おせんにもつながり、川や海に住んでいる生  
き物達の生命にも関わってきます。それをふ  
せぐためにも、よごれをふきとることは大事  
だなと思います。二つ目は、「節水」です。  
歯みがきをするとき、水を出しっぱなしにせ  
ず、コップを使うことにより、水のむだづか  
いをふせげます。下水道を守るために、一人  
ひとりのちよつとした行動が水を守ることに  
つながるのです。



水は、大事なしげんです。かぎりあるしげ  
人を未来につないでいくためにも、わたしは、  
このでぎることを実せんしていきたいなと思  
いました。

わたしの住んでいるこの宮崎の川や海がき  
れいにたもたれていたり、おいしい水を安心  
して飲めたりでぎるのは、水をきれいにして  
くださる人達がいるからです。その人達に感  
しやしながら、これからも水を大切に使うて  
いききたいなと思いました。

この夏、<sup>7</sup>水と向き合うことで、水の大切  
さをあらためて学ぶことができたので、よ  
かったなと思いました。